

臨濟宗青年僧の会特別企画

石山アンジュワークショップ ～寺院に於けるシェア活動の可能性～



- ・民泊やカーシェアリング等、個人では持て余す所有物を他の人と共有する事でコミュニティを形成する“シェア(共有)型社会“が注目されています。
- ・現在では和尚家族の住居となりつつある寺院も、かつては地域の文化や社会を豊かにする為の共有施設でした。
- ・宗教離れや檀家制度の脆弱化の対策の一環として、シェア活動を取り入れての寺院を中心とした社会づくりについて石山アンジュ氏とともに考えませんか？

講師紹介 石山アンジュ

一般社団法人シェアリングエコノミー協会 代表理事

一般社団法人 Public Meets Innovation 代表

一般社団法人 Cift 代表理事

1989年生まれ。「シェア(共有)」の概念に親しみながら育つ。シェアリングエコノミーを通じた新しいライフスタイルを提案する活動を行うほか、政府と民間のパイプ役として規制緩和や政策推進にも従事。2018年10月ミレニアル世代のシンクタンク一般社団法人 Public Meets Innovation を設立。新しい家族の形「拡張家族」を掲げるコミュニティ一般社団法人 Cift 代表理事。世界経済フォーラム Global Future Council Japan メンバー。ほかに「羽鳥慎一モーニングショー」木曜レギュラー、「真相報道バンキシャ!」「アサデス!」「報道ランナー」にコメンテーターとして定期出演。著書に「シェアライフ-新しい社会の新しい生き方(クロスメディア・パブリッシング)」がある。2012年国際基督教大学(ICU)卒。新卒で(株)リクルート入社、その後(株)クラウドワークス経営企画室を経て現職。デジタル庁シェアリングエコノミー伝道師。大分と東京の二拠点生活。

2022年9/13(火) 13:30～16:30

会場 東京都港区芝 4-3-14 仏教伝道協会7階「見」

参加無料 服装自由 定員 20名程